

売上高比較表

武蔵野市長 殿

法人名 又は 屋号

代表者名 又は 個人名

下記のとおり、直近の売上高が前年同期間と比較して10%以上減少していることに相違ありません。

記

	売上を比較する期間(和暦) ※注 裏面を必ず参照	左記期間の売上高合計 ※注 千円未満切り捨て
直 近	年 月 ~ 年 月	A 千円
前年同期	年 月 ~ 年 月	B 千円
減少率	算式 $100 - (A \div B \times 100)$	%

※注 減少率は、小数点以下第2位で四捨五入してください。

記入例) 10.68% → 10.7%

【注意事項】

- 事業者全体の売上高を記入してください(複数業種を営んでいる場合はその合計)。
- 3か月間比較又は1年間(事業年度)比較のいずれかの方法にて売上高が10%以上減少していることを証明してください。なお、申請月に応じて最近3か月の対象期間が異なります。**必ず、裏面をご確認ください。**
- 売上発生月がまばらな場合は、1年間(事業年度)で比較するようお願いいたします。
- 上記に記入した売上高を確認できる書類(月次損益計算書、確定申告書類の決算書、法人事業概況説明書の裏面、売上台帳など)を必ず添付してください。その際、申告していない分についての比較期間は、余白に相違ない旨の記入と法人代表印(個人は実印)を押印してください。1年間比較の場合は事業年度別で2期分が必要となります。
- 税務署に申告した売上高との相違は認められません。各月の売上高の記入あたっては、確定申告書類の決算書や法人事業概況説明書の裏面にて、相違ないことを確認してください。

売上高比較表に記入する売上高の対象期間について

比較の方法は、3か月間での比較と事業年度での比較の2種類あります。どちらで比較していただいても結構ですが、売上発生月がまばらな場合は、事業年度で比較してください。

最近3か月間の売上高が減少している場合

売上高比較の方法

最近3か月間の売上高と前年の売上高を比較します。最近3か月間の抽出にあたっては、下表の対象期間に当てはまる範囲内で連続する3か月間を抽出してください。なお、売上高比較表に記入した売上高を月別に確認できる書類を必ず添付してください。

【 最近3か月間の売上高比較にあたっての申請月別対象期間表 】

申請月	対象期間	申請月	対象期間
令和2年4月	令和元年10月～令和2年3月	令和2年10月	令和2年4月～令和2年9月
令和2年5月	令和元年11月～令和2年4月	令和2年11月	令和2年5月～令和2年10月
令和2年6月	令和元年12月～令和2年5月	令和2年12月	令和2年6月～令和2年11月
令和2年7月	令和2年1月～令和2年6月	令和3年1月	令和2年7月～令和2年12月
令和2年8月	令和2年2月～令和2年7月	令和3年2月	令和2年8月～令和3年1月
令和2年9月	令和2年3月～令和2年8月	令和3年3月	令和2年9月～令和3年2月

例) 令和2年4月に申請する場合

比較する最近3か月の対象期間: 令和元年10月～令和2年3月

抽出する3か月間が、例えば令和(R)元年/11月・12月・令和2年/1月の場合

R1年10月	R1年11月	R1年12月	R2年1月	R2年2月	R2年3月
↓ 前年の同月と比較する。					
H30年10月	H30年11月	H30年12月	H31年1月	H31年2月	H31年3月

1年間(事業年度)の売上高が減少している場合

売上高比較の方法

申請時点で決算を終えている直近の事業年度(1年間分)とその前の期(1年間分)とで売上高を比較します。なお、売上高比較表に記入した売上高を確認できる書類を必ず添付してください。

例) 3月決算の事業者が令和2年4月に申請する場合

令和(R)元年度と平成(H)30年度の売上高を比較する。

	前年同期	最近1年間	申請月を含む事業年度
3期前	前々期	前期	今期
H29年度	H30年度	R元年度	R2年度